2026 年 11 月 27 日
広島電鉄株式会社

勤務編成支援システム(ヒロデン・シフト)の共同開発・導入について
～日々の作業量を大幅に削減、同業他社向けの開発にも着手～

広島電鉄株式会社（本社：広島県広島市　代表取締役社長：仮井康裕。以下、広島電鉄）は、株式会社アルジェブラテクノロジーズ（本社：東京都中央区　代表取締役：吉本隆久。以下、アルジェブラテクノロジーズ）と、電車・バス乗務員の勤務割り当て作業を支援するシステム（システム名称：ヒロデン・シフト）を共同開発し、2025 年 7 月から、全営業所での運用を開始しています。
このたび、当システムの製品化に向け、同じバス事業者である国際興業株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：黒滝寛。以下、国際興業）での導入に向けた開発を開始しました。
　広島電鉄の運輸業で培った「業務見直しの手法とシステム」を、同様の課題を抱える事業者へ広げ、働き手が長く安心して働ける環境づくりに貢献してまいります。

１．ヒロデン・シフトについて
（１）概要
本システムは、運転士向けの「乗務員ツール（スマートフォンでの申請・確認）」と、管理者の業務を支援する「管理者ツール（法令チェック・自動割り当て機能等）」で構成されています。
乗務員がスマートフォンで自分の勤務に関する申請や確認などを行うことができるほか、勤務シフト編成者（管理者）が行うシフト割り当て作業や、割り当てたシフトが法令に則しているかのチェック作業をシステムが支援します。



［乗務員ツール］



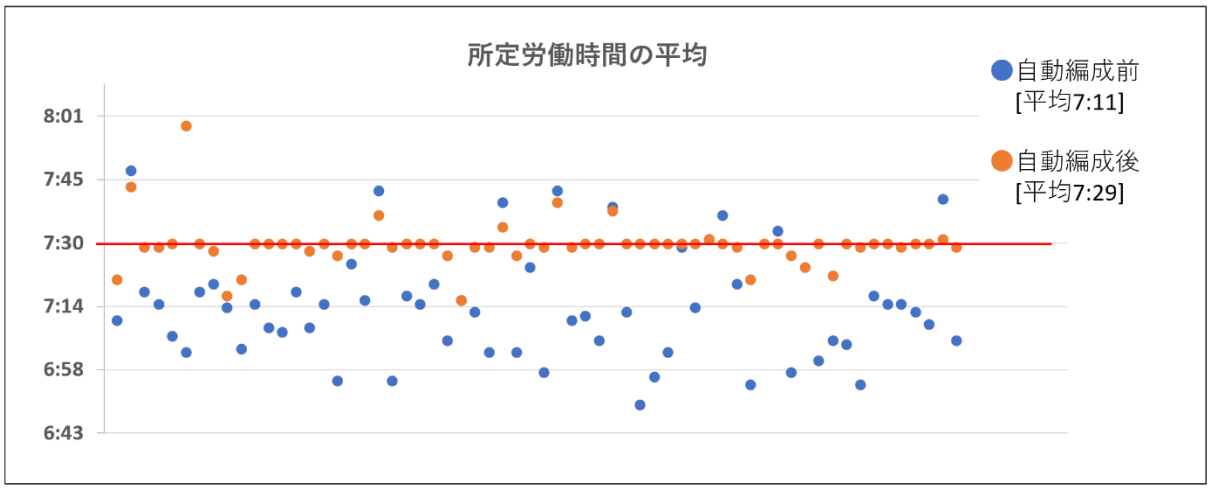
［管理者ツール］

（２）システム導入による効果
- ✓ スマートフォン活用と運用ルール整備による乗務員の働きやすさ向上。
- ✓ 自動割り当てや法令チェックによる勤務シフト編成者（管理者）の業務効率化
- ✓ 法令違反の有無を随時自動チェックし、法令順守の精度が向上。

乗務員は、早朝・深夜・朝夕ラッシュのみの勤務など不規則かつ複雑な勤務形態が求められます。これまで、法令を順守しつつも営業所毎に独自のやり方で、管理者が勤務編成作業を行っていました。しかし、その複雑で分かりにくい編成ルールの運用が管理者の負担となっていたほか、運転士の働きやすさ向上を阻害する要因となっていました。

システムの導入により、ルールが標準化され乗務員の働きやすさ向上につながったほか、管理者の日々の作業量が 30%～50%程度削減され、また毎月 1 回 2 日半かかっていた変形労働時間制における所定労働時間の調整作業が、ボタンひとつで行えるようになりました。

さらに、勤務の結果がリアルタイムでシステムに反映され、また法令違反に関するチェックもシステムが支援することにより、法令順守の精度が向上したほか、新任者でも標準的な対応を行うことが可能となりました。



これまで月 1 回、2 日半かかっていた、全運転士の所定労働時間を 7：30 に近づける自動編成の結果
(効率的かつ平等な編成が可能となりました)

2．国際興業での導入に向けた開発開始

同じバス事業者である国際興業様もまた、編成者の業務過多や離職防止、乗務員不足などの課題を抱えておられました。そのような中で、広島電鉄の取り組みに共鳴いただき、このたび導入に向けた開発に着手することとなりました。現在は広島電鉄での導入事例を参考に、国際興業さまの運用方法に即した、「ヒロデン・シフト」をベースとした「コクサイ・シフト」の開発を進めています。

3．今後の展望

運転士不足は運輸業界全体の課題であり、勤務編成の負担や複雑さに悩む事業者は少なくありません。国際興業での取り組みを皮切りに、広島電鉄の運輸業で培った業務見直しの手法とシステムをセットで、同様の課題を抱える事業者に提供してまいります。働き手が長く安心して働ける現場づくりに貢献し、ひいては地域交通の路線維持や、誰もが安心して移動できるまちづくりの一助となることを目指します。

以上